

令和2年定例会招集会議の概要

5月18日の定例会招集会議では、令和3年4月30日までに会期とすることや、新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算をはじめとする議案の審議、各委員会の委員の選任などを行い、正副議長選挙では、議長に八田憲児議員、副議長に幸光正嗣議員が選出されました。

市長は提案説明で、新型コロナウイルス感染症対策として、市民の命と暮らしを守り、市内事業者の事業継続を支えるため、「感染拡大防止対策」「生活・子育て対策」「経済対策」の3つを柱とした補正予算の編成を表明しました。このうち、一般会計補正予算案に対しては、臨時休校に伴う子どもの居場所づくり事業

の拡充や学校でのオンライン教材の導入、市内小規模事業者・個人事業主への本市独自の支援策である「小規模事業者応援給付金」「中小企業助成金」の制度内容や周知方法などについて、3人の議員が質疑。また、同議案に対する賛成討論では、特別定額給付金をはじめとする本補正予算に計上された事業の着実な推進により、早期に支援を必要とする市民・事業者を支えることや、市職員の集団感染による本庁舎の閉鎖という事態を教訓に、非常時にも市民生活への影響が最小限となるよう、BCP(業務継続計画)の改定やテレワークなどの環境整備に尽力することを求める声などが上がりました。



◆議案の議決結果◆

議案	件名	議決結果
第70号	R2 一般会計補正予算(第1号)	可決(全員)
第71号	R2 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
第72号	市税条例の一部改正	可決(全員)
第73号	国民健康保険条例の一部改正	可決(全員)
第74号	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	可決(全員)

議長公約の実現に向け 議会全体で取り組みます



招集会議に先立ち行われた5月14日の全員協議会で、八田議長は立候補時の所信表明として、右記のとおり述べました。

今後、議長の公約実現に向け、「チーム大津市議会」として取り組んでいきます。



新型コロナウイルス感染症対応を教訓として大津市議会BCP(業務継続計画)のバージョンアップを図る

- ・感染症対応型議会活動プログラムの追加
- ・ウェブ会議の実用化
- ・近隣議会広域連携を活かした対応プログラムの追加

市議会としての新型コロナウイルス感染症対策

招集会議では、議案審議が滞らないためにも、本会議において採決時以外の出席議員を半数にするなど、極力3密(密閉・密集・密接)を回避し、議会機能の維持を最優先とした議事運営を行いました。また、感染症拡大防止の観点から、インターネット議会中継のライブ配信と録画映像をご覧いただくことし、傍聴をご遠慮いただきました。

今後も状況に応じた議事運営を行ってまいりますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。なお、インターネット議会中継へのアクセスは、こちらの二次元コードをご活用ください。



また、議会BCP(業務継続計画)に基づき、新型コロナウイルス感染症対策に関する約100件の市民の皆さまからの声を取りまとめ、執行機関へ要望したほか、5月11日には正副議長と3人以上の会派の代表者からなる議会災害対策会議を開催しました。会議では、今後の感染症対策に当たり、議会としての意見を集約し、執行機関へ提言することを確認したほか、参集が困難な場合を想定したウェブ会議のデモンストレーションを行い、導入について意見交換をしました。



←このマークのついた二次元コードから、詳細をご覧いただけます。